



9月の園だより

令和5年8月29日 富田林市立川西幼稚園

園長 石田 安志



大人になったあなたを支えるのは、子ども時代のあなたです

子どもが大人に求めている援助とは？

入園した頃は、着替えも、朝の準備も誰かが近くに来て、一つずつ声をかけてあげないと座ったままだった様子から、朝、園に来たら自分で「おはようございます。」とあいさつをして靴を履き替え、朝の準備を黙々とする子どもたちが増えました。

社会の進歩で便利になるとともに、子どもの手先がどんどん不器用になっているのは事実です。人類は二足歩行になり手を使うようになったことで、人間の脳の隅々まで働くようになったことも周知の事実。子どもは、自分の手を使って何でも自分でやりたがります。子どもが求めているのは、電子レンジでタオルを温めて自分の代わりに顔をきれいに拭いてくれることではありません。自分で洗面台に手が届くように台を設置したり、子どもがつかめる大きさの石鹸を用意したり、自分の手の大きさにちょうどいいタオルを手の届くフックにかけてあげること。そして、時間がかかっても、自分の手で成し遂げることができた自信をつけてあげることです。そして、そこにかけた手間や時間は、今後何十倍、何百倍にもなって子どもの宝物(自信)になるのです。子どもが何かをしようとしたときに、時間がかかるからと待ってあげられないと、チャレンジするチャンスを一つ失うこととなります。特に幼児期は、いつまでに何をしなければならぬ。という縛りが少ない時期です。もちろん、集団で行動している以上、いつも気ままに興味の方向にだけ合わせていくことはできませんが・・・この時期は少しゆったりと。

教育の基本原則に「成長の段階に応じて行う。子どもと大人は違う。」ということも忘れてはいけませんね。

寓話で、お母さんカエルが小さなオタマジャクシに「水から上がって、芝生の上で体を休めてごらん。そうすれば、強く健康なカエルになれるよ。母さんのようにね。」という勘違いな寓話があります。発達の段階に応じて、大人と一緒にすべていいというわけではありません。食べる。寝る。遊ぶ。すべてにおいて子どもの成長の段階をよく見極めて経験させ、すべての出来事から、「いったい、この出来事から子どもは何を学ぶのか？」と大人が問い、環境を整えていきたいものです。

育てたいこと 9月のねらい

3歳児 *園生活のリズムを取り戻し、身の回りのことを自分でしようとする。

*友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。

4歳児 *先生や友達と一緒にのびのびと体を動かして遊ぶ
楽しさを味わう

5歳児 *初秋の自然の中でのびのび遊びことを楽しむ。

*自分なりに目標をもって取り組む楽しさを味わう。

★9月生まれのお友達 お誕生日おめでとう★

たんぼぼ組とすずらん組の
子どもたちが誕生日でした。

